

## 「神経変性疾患ヒト脳の病理、タンパク質および遺伝子発現の解析」 に関する情報公開

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。病理解剖の際に医科学研究への協力にご承諾をいただいておりますが、改めて本研究へのご協力を承りますようお願いいたします。

なお、本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

### ●研究の名称

神経変性疾患ヒト脳の病理、タンパク質および遺伝子発現の解析

### ●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

### ●研究の対象

2001年7月～2020年3月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、病理診断により神経変性疾患（ポリグルタミン病、アルツハイマー病、前頭側頭葉変性症、筋萎縮性側索硬化症、タウオパチー、パーキンソン病、汎発性レヴィー小体病、FMRP 関連神経疾患に限定する）と診断された方および顕著な疾患なしと診断された方。

### ●研究の期間

倫理委員会承認後から 2025 年 03 月まで

### ●研究の目的と概要

神経変性疾患の病態は、まだ完全には解明されておらず、原因タンパク質の脳内蓄積に先行して、あるいはその蓄積に伴って、どのような病態シグナルが誘導されるかについては明らかにされていません。本研究では、神経変性疾患における原因遺伝子及び疾患関連遺伝子の RNA およびタンパク質の解析を行い、その病態シグナルの解明を目指します。これにより新たな治療法の開発に貢献したいと考えています。

### ●研究の方法

試料は匿名化されて共同研究先である東京医科歯科大学に宅急便で送られます。

東京医科歯科大学では、試料を用いて、神経変性疾患の原因遺伝子及び疾患関連遺伝子について、免疫組織化学、電子顕微鏡観察、Western Blot、ELISA、プロテオーム解析等を用いたタンパク質解析、あるいは RT-PCR、Northern Blot、DNA マイクロアレイ、RNAseq 等を用いた RNA 解析を行い、病態シグナルを解明いたします。

得られた研究成果は、個人の特定ができないようにした上で、国内外の学会や学術雑誌、データベース等で公表されます。

●研究に使用する試料・情報

試料：神経変性疾患患者の脳・脊髄（ホルマリン固定、凍結、パラフィン包埋ブロック、電顕用サンプル）

情報等：検体に関する臨床情報、病理所見および診断

試料提供の際は、個人情報提供されません。また、提供先で個人を特定する事が出来ないよう対応表の移動は行いません。

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子  
村山繁雄

東京医科歯科大学：難治疾患研究所神経病理学分野 岡澤均(研究代表者)

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分にご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子

電話 03-3964-3241 内線 4419 (平日 9:00~17:00)